

## 第9回（仮称）これからの図書館構想策定検討委員会 議事録

- 1 日時 令和3年9月30日（木）午前10時00分～午前11時20分
- 2 場所 練馬区役所本庁舎19階 1902会議室
- 3 出席者 野口委員長、長谷川副委員長、田倉委員、片岡委員、三澤委員、中川委員、河原委員、江島委員、湯澤委員、八尋委員
- 4 事務局 教育振興部長、光が丘図書館長、計画調整係係長、計画調整係職員
- 5 公開の可否 公開
- 6 傍聴者数 1名
- 7 議事等
  - （1）議事確認
  - （2）検討委員会報告書（案）の確認
  - （3）閉会に当たって
  - （4）その他
- 8 配布資料
  - （1）第8回（仮称）これからの図書館構想策定検討委員会 議事録
  - （2）第8回検討委員会での意見

## 9 会議の概要

### (1) 議事確認

委員長より、資料1「第8回(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会 議事録」に基づき、議事内容確認

(委員による議事承認)

### (2) 検討委員会報告書(案)の確認

#### ○ 委員長

副委員長、事務局とも調整のうえ、参考資料「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」を作成しました。

本日開催する委員会についても、第9回検討委員会の意見として追記し、皆さんに確認いただく予定です。

第1回検討委員会では、練馬区の図書館の現状と課題を共有し、現在の取組への感想や問題意識を議論しました。第2回、第3回では、「地域の情報拠点」としての図書館のイメージを議論し、第4回から第6回では、目指す図書館の実現に向けた具体的な取組を議論しました。第7回、第8回では、委員によるプレゼンテーションを行い、議論しました。

「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」では、各回で出された意見を記載しております。内容について、ご意見等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

#### ○ 委員

「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」2ページ目から記載されている、「練馬区立図書館ビジョン(平成25年6月策定)に基づく取組例」の一つに、図書館の資料や人材の活用として「障害者や高齢者向けのサービス、多言語サービスの充実」とありますが、更なる充実の必要性を伝えるためにも、3ページ目の「委員会からの感想・評価」の中に、「更なるサービスの充実が必要」と追記していただけないでしょうか。

また、3ページ目の「現在の図書館の課題」における「情報提供体制の充実」として、「すべての人を対象に平等に情報を提供する」とありますが、すべての人とはどのような人たちなのか、より具体的に書いた方が良いと思います。

#### ○ 委員長

まず一つ目は、「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」の3ページ目にある「委員からの感想・評価」に、「障害者や高齢者向けのサービスや多言語サービス等、多様なニーズに応えるサービスの更なる充実が必要である」と追記してほしいというこ

とですね。

二つ目は、3ページ目の「現在の図書館の課題」の「情報提供体制の充実」の中にある、「すべての人を対象に平等に情報を提供する」の、『すべての人』をより具体的に、赤ちゃんから高齢者、また障害のある方から外国にルーツのある方まで、すべての人を対象にということ、追記してほしいということですね。

○ 委員

そうです。

○ 委員長

ありがとうございます。ほかに質問や意見等ございませんでしょうか。

○ 委員

第8回検討委員会で、私がプレゼンテーション用に作成した資料等は添付されず、この報告書だけが公表となるのでしょうか。

検討委員会では、ポイントだけ絞って説明したので、この報告書には記載されていない文言がたくさんあります。

○ 委員長

このような報告書で、各回のプレゼンテーションや共有された資料をすべて記載するのは難しいです。

○ 委員

プレゼンテーションで一番言いたかったことは、コンセプトをどこに置くのかという事です。例えば、こういうものが欲しい、こういう企画が良いなどはたくさん出ますが、公共の図書館として、どのような特色で、何を目的とするのかに核を置いた方が良いと思います。

○ 委員長

第9回検討委員会での感想、ご意見として記録に残りますので、ぜひ次第の3「閉会に当たって」でお話してください。

○ 委員

分かりました。

○ **委員**

こちらの「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」は、練馬区でどのような扱いになるのでしょうか。

○ **委員長**

この検討委員会でいただいた、区民の代表としての皆さんの意見をまとめ、それをベースに区が具体的な構想を立てていく予定です。

この検討委員会は、柱立てを明確にして、これを議論しますという形ではなく、色々な意見を出し、区に対して様々な視点を提示していくことが重要なポイントであったと思います。

「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」の中で、表現方法等、気付いた点がありましたら、事務局までお知らせください。

今後は、練馬区の図書館として構想を検討するに当たり、参考資料として活用いただき、委員長、副委員長から練馬区教育委員会教育長に報告する予定で進めます。

○ **委員**

教育長に提出するほか、区のホームページ等でも公表されるのでしょうか。

○ **委員長**

公開されます。掲載された際は、事務局から案内の連絡がある予定です。

○ **事務局**

それと併せて、委員の皆さんには、冊子にした報告書を郵送にて送らせていただきます。

○ **委員**

公表後、区民からフィードバックがあった場合、それも反映されるのでしょうか。

○ **事務局**

あくまでもこの検討委員会の中での意見を掲載するという報告書なので、フィードバック等は考えておりません。

○ **委員長**

もし、区民の方からご意見等の反応があった場合は、構想の検討の中で生かしていくということになります。

○ 委員

こちらの「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」が、報告書ではなく、議事録のまとめのような形で公表するのなら理解できます。区民として見た時に、意見だけが並んでいて、結局、構想策定検討委員会では何が決まったのか、疑問を感じるのではないかと少し不安です。

○ 委員長

各委員会で出た意見をすべて掲載するのも、一つの報告の形だと思います。今回の検討委員会は、何かを決定する委員会ではないため、まとめ方が少し難しいところではあります。

○ 委員

区民は、検討委員会が、練馬の未来の図書館について何を話して、どのような方向に進んでいくのか考えながら読むと思います。

○ 委員長

委員会の主旨が、構想を策定する委員会では無く、構想を策定するための材料と言いますか、区民の代表としての皆さんの意見を出し合って、まとめるという形なので、そのような性格の委員会であることが伝わると良いのかなと思います。

○ 委員

それが伝わるように作成していただきたいです。

○ 委員長

区民の皆さんがうまく読み取れるような工夫が必要だというご意見でした。

今後の「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」の取りまとめに関して、委員長、副委員長に一任していただくということによろしいでしょうか。

(委員による検討委員会報告書(案)承認)

(3) 閉会に当たって

○ 委員長

検討委員会は今回で最後となります。感想を頂ければと思います。

○ 委員

私自身、図書館について知らないことも多く、この場で得た知識もたくさんあり、非常に

勉強になる会でした。あまり意見等を出せる方ではありませんでしたが、皆さんの意見に揉まれながら、自分の中で様々な事を考えられるようになったと思います。ありがとうございました。

## ○ 委員

皆さんの意見を聞かせていただいて、勉強になることが多かったです。図書館という場所が変わろうとしている、その現場を見させていただいているような感じです。図書館は、時代とともに成長していく場所なのだと深く考えさせられる機会になりました。

コロナというものが一つの大きなターニングポイントになるのかなと思いました。議論にもあった、デジタルの活用という点も、コロナの経験を経て、図書館の成長とともに色々な形で変わっていく兆しを感じました。

各委員の皆さんが、それぞれの立場からの面白い意見をお持ちで、図書館という場所が開かれた場所だと感じました。図書館の利用方法や、図書館を通じてどのようにネットワークを作っていけるか、考えさせられるヒントをたくさんいただき、感謝しています。ありがとうございました。

## ○ 委員

こちらの検討委員会に参加して、これまでいかに図書館のことを知らなかったか、ということが分かりました。

私は、練馬区に長く住んではいるものの、介護でしばらく社会から閉ざされたような生活を送っておりました。それもあってか、練馬区立図書館で、利用者と各館長が意見交換する「図書館利用者懇談会」というものがあることも知りませんでしたし、色々な企画等を行っていることも知りませんでした。これからは、私のような何らかの理由により社会から閉ざされている弱者にも分かりやすい発信をしていただけたら良いなと思います。

「図書館だより」はありますが、図書館に行かなければ分かりません。前にも意見を述べましたが、区報は家に届けられるので誰でも見ます。そのような誌面でも発信していただくと誰でも利用しやすくなると思います。

先日、練馬図書館に併設された生涯学習センターへ行った際、分からないことを教えてくださる方がいらっしゃいました。前回の検討委員会でも話題に上がりましたが、「千代田区立千代田図書館」のように、分からないことを教えてくれるコンシェルジュの設置の検討や、また、町内会や老人会では良く公園巡り等を行うのですが、その一環として図書館内の見どころ等をガイドするツアー等も組み込められれば、『人生 100 年時代』と言われている中で、もっともっと生涯学習の機会が増えていくのではと思いました。

## ○ 委員

こちらの検討委員会を通じて、これまでの図書館の活動をあまりにも知らなさ過ぎたと感じました。「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」を拝見していると、それぞれの会で、何度か同じキーワードが出て来ていました。私は以前、専門図書館で勤務しておりましたので、専門性を一つのキーワードとして捉えていたのですが、専門知識を持つ司書としての専門性だけでなく、周りの専門施設なども含め、様々な専門知識を持った方が集まり、様々なサービスを支えていくというのが、これからの多様性を求められる時代の図書館には必要なのだと痛感しました。

また、皆さんの意見の中にたびたび出た「地域の特性」、「併設施設との連携、融合」、「居心地が良い空間」、「データベースの活用」が、これからの新しいサービスに結びつくキーワードなのだと思います。

## ○ 委員

今回の「(仮称)これからの図書館構想」の策定は、時代が変わった事に対して、今の図書館の形がマッチしていない、もしくは今後、マッチしなくなるだろうというところから始まったのだと思います。公共施設としての図書館は、区民すべての人たちに対して開かれた場所であり、アクセスしやすい、利用しやすいことがベースにある必要があります。子どもたちが話すことが出来ない図書館は、子どもが来ません。他言語の方が読めない本ばかりある図書館や、情報が得られない図書館にも人は来ません。色々な立場の多様な人たちが来られることが、全図書館のベースとして引き上げていかなければならないことです。多国籍の方、障害のある方等も含め、皆がクオリティの高い生活を送れるということが、これからの社会では当たり前になってきます。図書館は本好きな方が来て、極めていく場所という認識から、区民全員が本を通じて知識を得たり、情報を深めることが出来る機会を得られる平等な場であるということは絶対に守られてほしいです。これは、これからの未来の図書館に絶対に必要な事だと思います。

「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」の中には、これだけは絶対に必要だというニーズと、更にクオリティを上げるためのことが記載されています。デジタルが活用できないシニアの方に、デジタルの活用方法を伝えるというのはベースとして必要なことです。私たち区民の意見だけでなく、今後は専門家の方も交えて、どのような未来の形が良いのか、更により良い情報の深め方や広げ方を考えていただければと思います。

「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」にある意見を現するのは、難しいと思います。どのような特色で、どこにポイントを置いて練馬の図書館を作っていくのかという、全体の方針を決める必要もあります。その際に、絶対に必要なニーズだけをすく上げていただき、その先については声の反映という言い方ではなく、より新しい未来への創造というような事業計画を出していただければ良いなと思います。

第8回検討委員会終了後、コミュニティの場としての図書館について改めて考えました。コミュニティの場になるのは大変素敵な事ですが、単純にコミュニティの場を作りましょう、つながりましょう、皆さんいらしてくださいと言っても、人は集まりません。本や情報を通じて知見を深めていく際に、同じ興味、関心を持った人が集まり、一緒に活動していくうちにコミュニティになるのだと思います。コミュニティの場を作るといって、コミュニティありきになってしまいますが、それとは逆で、本や情報からコミュニティの形成につながるものが考えられたらなと思います。

## ○ 委員

検討委員会は、大変柔軟に進められたのではと思います。

検討委員会の回数自体、開催当初は定まっていなかったようですが、9回でもまだ足りない気がします。こちらの「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」を見ると、皆で意見を出し合って、それで終わってしまう恐れがあるような気がします。私ともう一人の委員はプレゼンテーションの機会を得られましたが、可能であれば各委員にもその機会を持っていただき、それを持って皆で議論し、最終的な我々の意見から出た成果のようなものが作れるようなセカンドステップが欲しいという思いがあります。一人ひとりプレゼンテーション出来る時間があつたら良かったと思いました。

## ○ 委員長

他の委員の方にも同様の機会をとというのはその通りで、それぞれの考えや思いをプレゼンテーションしていただき、それを受けて私ならこうしたいなど、意見を出し合っていくことが出来たら良かったと思います。

この検討委員会が、区民の方を交えた、図書館を語れる会のようなものとして、今後も継続するきっかけになれば良いと思います。

## ○ 委員

この検討委員会で、様々な立場の方や、様々な活動をしている方のお話が聞けて、大変勉強になりました。私が参加しているボランティア活動に当てはめて考えますと、障害者の方が月に1回でも図書館に集まれるような会があると良いと思いました。行政が障害者の方に向けているのは縦の支援です。それだけではなく、横の支援として、図書館がコミュニティの場を作り、障害者同士が顔見知りになり、情報交換し、自分たちで強くなってもらうような共助の支援が必要だと思います。すでに、個々の障害者同士でのコミュニティはあるのかもしれませんが、他の障害者の方とのつながりはあるのだろうかと思います。例えば視覚障害者の方が利用しているサービスは、聴覚障害者にとっても良いサービスかもしれません。また、障害を持つお子さんの保護者は、同じ障害を持つ家族とのつながりはあるかもし



れませんが、同じ障害を持つ高齢者とのつながりはありません。何らかの不安を感じた時に、経験からの知恵やアドバイスをもらえることがあるかもしれません。他種の障害者の方やご家族の方、同じ障害でも世代が違う方等が気軽に集まれる会などが、月に1回でもあると心強いのではと思います。

行政においても、障害のある方に様々な情報を発信していると思いますが、図書館で情報を集積しておく、自分が欲しい時に情報を得ることが出来ます。そこで、「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」14ページ「情報を広げ、深める方法」の「人とのつながり、場の活用」にある、「集える場所があることが図書館の強みであり、それを活かしたコミュニティの場にすることも考えられる」に、「障害者の方もしくはその家族の方に向けても、定期的にコミュニティの場を」という一文を付け加えてほしいです。

#### ○ 委員長

今のご意見は、第9回検討委員会で出た意見として記載してよろしいでしょうか。

#### ○ 委員

はい。

#### ○ 委員

「地域の情報拠点」としての図書館のイメージに関し、皆さんの意見を聞いて、新しい発見もありましたし、考えを深めることが出来ました。

すべての人が当たり前のように図書館を利用出来るにはどうしたら良いか、もっともっと話し合えたら良かったと思います。これから構想を策定するに当たって、区でも考えていただきたいと思います。

蔵書や収蔵について、また、図書館空白地域や中央図書館、図書館員についてなど、まだまだ深く掘り下げて話したかったです。

練馬区は区民と行政で図書館を建設してきた歴史があります。新しい図書館の建設時だけでなく、今後も継続的に、区民も含めた話し合いの場を設置することを検討していただきたいと思います。

#### ○ 委員長

本日欠席の委員からも、感想が寄せられているそうなので、事務局よりご紹介をお願いします。

#### ○ 事務局

それでは代読させていただきます。

本日は検討委員会を欠席いたしまして申し訳ございません。本委員会において、図書館について改めて考える機会を得ましたこと、委員長をはじめとする委員の皆さんに感謝申し上げます。また、事務局として専門的なサポートを頂きました区役所の皆さんに感謝申し上げます。

本検討委員会は、これまで参加させていただいた練馬区の委員会等と同様に、地域で暮らしを営む市民の方々、つまり委員の皆さんに大変多くの事を教えていただきました。まちづくりの拠点としての図書館という将来像は、可能性にあふれた魅力的なコンセプトだと感じる一方で、実現することは難しいのではないかと考えていました。しかし、委員の皆さんの考えや取組について教えていただくことで、実現するかもしれないと感じるようになりました。

また、本検討委員会は、私個人にとってもまちづくりや地域に対する新しい視点を手に入れる機会となり、大変楽しく有意義な時間となりました。引き続き、図書館とまちづくりについて勉強して参りたいと考えておりますので、今後とも色々とお教えいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### ○ 委員長

ありがとうございます。

#### ○ 委員

追加してよろしいでしょうか。

資料1「第8回(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会 議事録」4ページの発言にある「リクエストした資料が3日以内に届く」を、「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」の14ページ「多様なニーズに応える」に追記していただきたいです。他の図書館からの取り寄せに時間がかかり過ぎると、どうしてもAmazonなどで購入することになります。早く届く、すぐ手に入る、調べやすいというのは、図書館として絶対に必要な条件だと思います。

#### ○ 委員長

分かりました。

#### ○ 副委員長

今回の検討委員会では、皆さんそれぞれの個人の状況や体験を生かした議論が出来たと思います。また、このような委員会で委員によるプレゼンテーションの場を設けられることは少ないので、大変充実していたと思います。特に、第8回検討委員会のプレゼンテーションの中で、利用対象者の詳細な状況があり、それに対しての提案があったので、問題点を考

える上で大変参考になり、素晴らしかったと思います。

施設面に関しても様々な提案が挙がりました。特に美術館と図書館との融合を考える回では、どのような施設やサービスの展開が出来ると良いかが考えられました。

また、デジタルの活用についての議論もありましたが、資料や情報面からデジタルを進めていく事と、コロナの状況に合わせ、サービス面でも活用していくことが考えられました。デジタル資料や情報の活用を、どのように展開していくべきか考えるときに、ヒントになるのが「すべての人が利用できるかどうか」ということではないでしょうか。その解決策に、デジタルの活用が効果的ではないかと思いました。

図書館の機能として、個人的なニーズに対応していくということがありますが、今後も引き続き充実させていく必要があります。それと同時に、図書館でコミュニティの形成や、発展を考えた時、どのような資料があると良いか、どのような状況が良いのかも併せて考えていくべきだと思います。その際に、委員の皆さんの個々の体験や、問題意識が役立つのではと思いました。

公共図書館なので、すべての人が利用できるということは重要です。先ほど話にありました、社会から少し遠ざかっていた環境にいる、図書館から足が遠のいているという、そういう方こそ図書館を活用し、問題解決や孤独感を解消出来たら良いと考えました。

## ○ 委員長

このような検討委員会は、有識者がメインとなって議論されることも多い印象ですが、こちらの検討委員会は、区民の皆さんが主体となり、意見を交わすというスタンスが大変素晴らしいと思いました。図書館の専門家やまちづくりの専門家だけが集まっても、スタンダードな枠組みの中で話が進んでしまうだけで終わったのではないのでしょうか。今回は、私自身も新しい着想を伺えて、非常に大きな気付きがありましたし、大変勉強になりました。

本日でこちらの検討委員会は終了いたしますが、更に深めて語りたいという思いもあります。皆さんのご意見を伺っていると、社会教育や生涯学習施設のあり方そのものの問い直しが求められつつあるのかなという感触を持ちました。これまでは図書館は図書館法、美術館は博物館法等、個々の法の枠組みの中でどうするかという議論が多くありましたが、現状を考えるとその垣根を超えた新しい施設づくりを目指していかなければならない時代が到来しているということなのかなと、感じました。そこを超えていくカギがICTの活用なのかなと思います。

こちらの「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」は、あくまでも図書館構想策定のためのものですが、その次のステップとして、練馬区社会教育、あるいは生涯学習全体の構想を考える際にも、皆さんの意見はヒントになるとと思います。

コロナにより、財政的な側面から難しい部分も多いと思いますが、アフターコロナの図書館という視点で、構想が作成されるのは間違いありません。コロナという状況の中で検討出

来たことは、タイミング的に良かった部分もあったのではと思います。

事務局の皆さんからもそれぞれ感想をお願いします。

#### ○ 計画調整係職員

皆さん、1年間本当にありがとうございました。様々なバックグラウンドを持つ方に参加いただき、私たちでは気付けない問題提起をたくさんいただきました。机上で考えていると、区民の皆さんが求めていることが分からなくなってしまい、迷うことも多かったのですが、この1年間を通じて、皆さんが必要としていることが分かったような気がします。今回いただいた意見は、事務局としてしっかりと構想に反映させていきたいと考えています。

#### ○ 計画調整係係長

皆さんの意見を拝聴してから、これまで気付かなかったことも発見することができ、大変有意義な会でした。構想の策定に当たり、皆さんの意見を参考に、区民の皆さんに愛され、頼りにされるような図書館にしたいと思います。1年間、ありがとうございました。

#### ○ 光が丘図書館長

区として、これまでいただいた多くの意見を、どのように構想に盛り込んでいくかというのがこれからの大きな課題だと思います。すべての意見を取り入れることは難しいですが、これまで行ってきた取組のベースは継承した上で、時代に合わせどのように変化していけるか、お見せ出来るような構想にしたいと思います。これまでいただいた意見の中で、現在足りないもの、更に力を入れていきたいもの等、コントラストを考えながら反映させたいと思います。時間の関係もあり、本日でこちらの検討委員会は散会になりますが、「図書館利用者懇談会」や語る会のようなものも開催しておりますので、ぜひ参加いただき、引き続きご意見をいただけたらと思います。ありがとうございました。

#### ○ 教育振興部長

皆さん、1年間ありがとうございました。特に、委員長や副委員長にはあらゆる面で相談に乗っていただき、感謝しております。

専門家というよりは、実際に図書館を利用してくださっている方に意見を伺いたいと、こちらの検討委員会を開催いたしました。

委員長や副委員長の選出に関しても、新進気鋭の新しい視点を持った先生ということでお願いしました。

このような検討委員会で、委員からプレゼンテーションしていただくということは初めての試みでしたが、実際に様々な活動を行っている方々から見た問題意識、その解決に図書館は一役買えるのだという視点は非常に良かったと思います。

一般論ではなく、実体験に基づいた問題意識は大変参考になりました。皆さんからいただいた意見を踏まえ、皆さんの意見に応えられる、夢のある構想をまとめていければと思っています。今回で検討委員会は終了しますが、引き続き、構想の策定に当たってのご意見等含め、いただきたいと思います。

(4) その他

○ 委員長

本日の委員会について、ほかにご意見等ある方はいらっしゃいますか。

○ 委員

図書館構想策定のスケジュールを教えてください。

○ 事務局

皆さんからいただいた意見をまとめた「(仮称)これからの図書館構想策定検討委員会報告書(案)」を基に、区の方向性を定め、今年度中に図書館構想を策定する予定です。

○ 委員長

ほかに質問やご意見等ございませんでしょうか。

それでは、これもちまして本日の検討委員会を終了させていただきます。また検討委員会自体も本日で閉会とさせていただきます。これまで、誠にありがとうございました。

閉会